

ピアノ、ヴァイオリン、チェロの名手たちの競演

育つまち  
鎌ヶ谷

平成28年度 男女共同参画週間事業

# 女性作曲家の 室内楽を聴く午後

参加無料

保育あり(無料)



ルイーゼ・アドルフ・ル・ポー



ポリーヌ・ガルシア=ヴィアルド



メル=ボニス



エイミー・チェニー=ピーチ



エルフリーダ・アンドレー

## 出演者(裏面にてプロフィール紹介)


ピアノ=佐野 隆哉(さの たかや)

チェロ=上森 祥平(うわもり しょうへい)

ヴァイオリン=横山 奈加子(よこやま なかこ)

おはなし=小林 緑(こばやし みどり)

日時：平成28年 6月25日(土) 午後2時~4時 (午後1時30分開場)  
場所：きらり鎌ヶ谷市民会館 きらりホール

鎌ヶ谷市富岡1-1-3(ショッピングプラザ鎌ヶ谷3階)  新京成線「初富駅」すぐ

※駐車場は台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

参加費：無料

定員：510名(申込先着順)

保育あり：5名(1歳10ヶ月~未就学児まで・申込先着順・無料)

※保育申込締切：6月18日(土)までにご連絡ください。

※保育を利用される方には、記入していただく書類を郵送します。

会場周辺の地図



お問い合わせ・お申込み先：鎌ヶ谷市男女共同参画推進センター

TEL. 047-401-0891

FAX. 047-401-0892

Eメール…danjyo@city.kamagaya.chiba.jp

氏名(ふりがな)・電話番号・年代を記入

※保育希望者は、住所・お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日を記入



# 出演者プロフィール



## 佐野 隆哉 ピアノ

ダイナミックにして繊細。天性のイマジネーションから織りなす「色彩感」と「叙情性」に満ちた「実力派」ピアニスト。1980年東京生まれ。都立芸術高校、東京芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。2005年に渡仏後、パリのスコラ・カントルム高等課程を最優秀で修了。その後、日本人男性として初めてパリ国立高等音楽院「第三課程研究科」(博士課程)からの入学を許可され、2008年に修了。在学中より、日本音楽コンクール第2位入賞(03年)を始め、世界各地の「国際ピアノコンクール」で多数入賞。ホセ・ロカ国際2位(スペイン・08年)。ロン・ティボー国際5位及び聴衆賞、特別賞(仏・09年)。ショパン国際ディプロマ(ポーランド・10年)等を受賞。

これまでに、フランス国立管弦楽団、パリ国立高等音楽院オーケストラ、東京交響楽団、大阪フィル等と共演。国内はもとより、フランス、ヨーロッパ各地でリサイタルを開催し、好評を得ている。「室内楽」の分野においても、パリ国立高等音楽院室内楽科を審査員満場一致の最優秀で卒業。日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門[共演者賞](03年)、国際サキソフーンコンクール名誉ディプロマ(ポーランド・09年)を受賞するなど、国内外の幅広いジャンルのアーティストから厚い信頼を得ており、ソロ活動に留まらず多方面で活躍している。2010年冬に帰国。現在、演奏活動の傍ら、東京芸術大学、国立音楽大学、都立総合芸術高校にて非常勤講師も務めている。平成16年度青梅市芸術文化奨励賞受賞。第3回グラチア音楽賞受賞。2013年ファーストCD「DANZA」(LPDCD-010)をリリース。  
<http://takaya-sano.com>



## 横山 奈加子 ヴァイオリン

6歳より村井陽子の指導のもとヴァイオリンを始める。その後、田澤明子に師事。1994年桐朋学園大学音楽学部卒業。1997年同大学ソリスト・ディプロマコース修了。この間、江藤アンジェラ、江藤俊哉に師事。1991年第60回日本音楽コンクール第3位。1992年第5回日本国際コンクールにて奨励賞。1994年第10回チャイコフスキー国際コンクールにて第5位入賞。

1998年フルトヴェングラーのヴァイオリンソナタ第2番をピアニスト 鷲宮美幸と本邦初演し、その記録はエリザベート夫人のもとに届けられた。2010年~2012年佐々木京子とモーツァルトのヴァイオリンソナタ全曲リサイタルを行う。その他、NHK-FM や新日鉄プロミシング・アーティスト・シリーズ、JT アートホール室内楽シリーズにおいて世界的ヴィオラ奏者ユーリ・バシュメットとも共演。

2007年よりNHK 毎日新聞社主催の全日本学生音楽コンクールの審査員も務めている。

音楽之友社よりプロコフィエフ：ヴァイオリンソナタ第1番(ピアノ浦壁信二)などのロシアの作曲家の作品を集めたCDを発表。

2015年にオクタヴィア・レコードよりバッハの無伴奏ソナタ・パルティータ全曲をリリース。



## 上森 祥平 チェロ

東京芸術大学在学中に第66回日本音楽コンクール第1位入賞、併せて「松下賞」受賞。東京芸術大学にて安宅賞受賞。各地で開催されたデビューリサイタルでの高い表現力や表情を多彩にする包容力は、誌上で高く評価された。宮崎国際室内楽音楽祭でアイザック・スターン、エマニュエル・アックスの各氏に師事。1ヶ月にわたるこの模様は、NHK 教育テレビ・BSで放送された。2000年スターン氏自らの招きによって再び宮崎でアイザック・スターン、ジュリアード・カルテットの各氏に師事。ヨーヨー・マ氏のマスタークラスを受講。2001年ベルリン芸術大学に留学。2004年J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲連続演奏会で成功を収め、誌上で絶賛される。2005年ベルリン芸術大学を卒業、ヨーロッパ各地で演奏ののち帰国。現在ソロ・室内楽・主要オーケストラの首席客演等多方面にわたって活躍。2005~2008年ドイツ三大Bチェロ作品全曲リサイタルを成功させる。2008年より毎年J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会(朝日新聞社主催・浜離宮朝日ホール)を開催。その評価は年を追うごとに高まっている。「熱狂の日」音楽祭、東京・春・音楽祭、NHK「名曲アルバム」、「クラシック倶楽部」NHK-FM「ベストオブクラシック」他

多数出演。これまでに小林研一郎、下野竜也等各氏の指揮のもと、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団等と共演。京都市立芸術大学非常勤講師。京都市芸術文化特別奨励者及び京都府文化賞奨励賞受賞。第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



## 小林 緑 おはなし

1942年生れ。東京芸術大学大学院修了後、1971~72年フランス政府給費留学生としてパリ第四大学留学。現在、国立音楽大学名誉教授。

「女性と音楽研究フォーラム」会員(前代表)。1999年度は国立音楽大学在外研究者としてパリに滞在、女性作曲家の情報収集にあたる。編著に「視覚表象と音楽」(2010、明石書店)「女性作曲家列伝」(1999、平凡社)、共著に「表現する女性たち」(2010、第三書館)、「音楽のテアトロン」(1994、勁草書房)、翻訳にスーザン・マクレアリ「フェミニン・エンディング」(1997、新水者、女性と音楽研究フォーラムとして共訳)、ジェルメーヌ・タイユフェール他

「ちょっと辛口タイユフェール回想録」(2002、春秋社)ウラジミール・ジャンクレヴィッチ「フォーレー言葉に言い表せられないもの」(2006、新評論、遠山菜穂美などと共訳)など。2003年パリ日本文化会館での「日本の5人の女性作曲家とタイユフェール」、2007年杉並公会堂での「女性作曲家音楽祭」コンサート・シリーズ、2008~2015年の「津田ホールで聴く女性作曲家全5回シリーズ」など、忘れられた女性作曲家を主題に講演、コンサート企画・監修を継続している。